

## 令和3年度 第1回庁議概要

- 1 開催日：令和4年2月16日（水）13時40分～13時52分
- 2 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 「三重県ひきこもり支援推進計画」最終案について

#### ●中山子ども・福祉部長

「三重県ひきこもり支援推進計画」の策定にあたり、関係部局には、これまで「三重県ひきこもり対策検討会議」での議論等にご協力いただき、感謝する。

本日は、これまでの議論をふまえ、この議会に提出する計画の最終案をお諮りする。ひきこもり支援については、福祉のみならず、医療、教育、雇用をはじめさまざまな分野と連携し、総合的に進めていく必要があると考えているので、皆様からのご意見をお願いしたい。

#### ●中出地域共生社会推進監（資料1-1に基づき説明）

「三重県ひきこもり支援推進計画」については、12月に中間案の公表後、パブリックコメントを実施し、その結果等をふまえ、最終案をとりまとめた。

パブリックコメントの結果については、150件の意見をいただいた。対応状況として、「反映する」「反映済」「参考にする」を合わせ、過半数を超える意見を参考にさせていただいた。

中間案からの主な変更・追加は3のとおり。パブリックコメント反映分として4点、それ以外として2点、それぞれに整理した。

計画の目標値について補足する。本計画では、3年後の目標（めざす姿）をふまえ、計画全体を包括する数値目標として「計画全体の目標」を設定した。

「『ひきこもりに関する理解が進んだ』と感じる県民の割合」は、ひきこもり支援フォーラムなど継続的に実施する啓発活動に参加した県民の皆さんを対象にしたアンケート調査により把握するものである。「『ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の整備が進んでいる』と考える相談支援機関の割合」は、ひきこもりに関する相談支援機関（287機関）を対象にしたアンケート調査により把握するものである。令和6年度目標値70%の根拠は、県の総合計画に掲げる施策全体の成果の達成割合の考え方と民間企業で導入されている組織的な目標管理手法の考え方を参考にした。

ひきこもり支援施策の推進にあたっては、分野を超えた連携をより一層図りながら、切れ目のない支援体制を構築していく必要があることから、引き続き関係部局の皆様のご協力をお願いしたい。

今後のスケジュールは、本日の議論等をふまえ、3月15日に県議会医療保健子ども・福祉病院常任委員会において説明した後、成案として公表する。

#### ☆木平教育長

この計画では、不登校等により学校との関わりが希薄となり、ひきこもり状態につながるものが懸念される子どもについても、支援対象としている。

学校では、不登校の児童生徒が増加し、低年齢化、長期化している状況がある。教育委員会では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、教育支援センターの機能拡充をしている。また、高校を中退し進路未定のまま、ひきこもりの状態につながるケースもあり、相談窓口を設けて対応している。教育だけでは対応しきれない課題であるため、福祉や医療とのつながりを深め、取組を推進していきたい。

#### ☆一見知事

ひきこもり支援について、全国的に取り組んでいるところは少ない。県内ではひきこもり状態の方が、1万人を超えると推計されている。ひきこもり状態の方が社会で活躍していくためにも、まず実態把握をして取り組んでいきたい。この取組はまだ緒に就いたばかりであるが、この計画を皆さんの努力によりつくることができた。この計画は、ひきこもり支援の今後の羅針盤となる。国や他県をリードするつもりで意欲的な取組を進めてほしい。